

学校教育目標「自ら学び、共に学び、学びを楽しむ子どもの育成」

校訓「敬天愛人」

# 大門坂

月田小だより  
6月増刊号

令和8年6月30日(火)

校長 中井 良徳

月田小学校HPは [真庭市立月田小学校](#) で検索!

## 平和・世界遺産・産業・スポーツ・グルメ 広島の旅



平和記念公園内にある「原爆の子の像」に折り鶴を捧げる月田小学校と富原小学校の5・6年生

「めっちゃええ勉強になった！」

広島平和記念資料館の見学を終えた児童が言った言葉です。

6月9日～10日、5・6年生が広島へ社会見学に行きました。広島記念公園を訪れるということで、広島に投下された原爆のこと、そこで苦しんだ人々のことを事前に調べ、平和を願って折り鶴を折りました。この折り鶴は、「原爆の子の像」の前で平和の集いを行い、世界の平和を誓って折り鶴ブースに捧げました。

平和の集いに先立ち、資料館を見学しました。館内は修学旅行生や外国人旅行者であふれていました。児童らは、一つ一つの展示物を興味深く、解説を読みながら丁寧に見ていました。目をそむけたくなるようなものもあります。全員が時間いっぱいの見学時間を使っていました。そして、聞かれたのが冒頭の言葉です。事前に調べ学習をしてきても、本物の展示物から伝わることは多かったと思います。

館外の公園は、ガイドの方に案内をして

いただきました。ガイドの方の質問に即座に答える児童に対して、「代わりにガイドができる」と言われるぐらいしっかりと予習ができていて驚かされていました。それでも、写真で見る原爆ドームとは違い、大きさやその場の空気を感じることができました。

世界的に危ぶまれる情勢が続き、国内でも平和に関する発言に疑問がもたれる昨今、広島で見聞きしたことが児童の平和について深く考える助けになることを期待します。

さて、今回の広島の旅は平和学習にとどまらず内容が満載でした。

「うおー！」

今回まず訪れたのがマツダスタジアムです。巨大な施設に歓声が上がります。VIP席や普段は立ち入ることのできないベンチやブルペン、記者席をツアーガイドの方に案内をしていただきました。特に野球をやっている児童にとっては憧れの場であり、見るもの全てに興奮気味でした。



ベンチで選手気分の児童ら

「シュー！」

広島といえばお好み焼きです。1日目の昼食は鉄板の上で焼かれる熱々のお好み焼きをヘラで切り分けながら食べました。イカ天が入っていてボリューム満点、大満足でした。

「わ〜！」

広島市内の見学を終え、フェリーで宮島へ渡ります。フェリーに乗ったことのない

児童も多く、10分足らずの船旅に海風を浴びながら大興奮です。

普通に鹿が歩いている光景を見ながら、宿へ移動します。夕食後に時間があるということで、ライトアップされた厳島神社の大鳥居を見に散歩に出かけました。幻想的な姿は思い出になったと思います。この日はよほど疲れたのか、就寝時刻で全員が爆睡でした。

「ラッキー！」

2日目、朝食を済ませ宿を出発し、厳島神社を参拝です。天候にも恵まれて、夜とは違った巨大な大鳥居、そして朱色が美しい厳島神社を、ガイドの方の説明を聞きながら巡りました。そして、干潮のため大鳥居の下まで近づくことができたことは、本当にラッキーでした。動物好きな児童にとっては宮島水族館も楽しめたようです。



大鳥居の下まで歩いて近づいた児童ら

「迫力満点！」

宮島での昼食、買い物を楽しんだ後は、福山市に移動して、最後の見学場所 JFE スチール西日本製鉄所の見学です。広大な敷地をバスで回り、鋼片を板に加工していく「圧延」の工程を工場内で実際に見学しました。真っ赤な鉄の様子と熱、音は迫力満点でした。何度もローラーで薄くのばしていく様子は目に焼き付きました。

今回は富原小学校との合同行事でしたが、自然と打ち解け実りのある2日でした。